

令和 3 年度 ごみ処理状況について

令和 3 年度 ごみ処理状況について

3 月末 現在

～ごみ処理総量は焼却量とともに減少しました～

…… 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に掲げる4つの目標値の達成状況について、事業系ごみ量の目標値を達成することができました ……

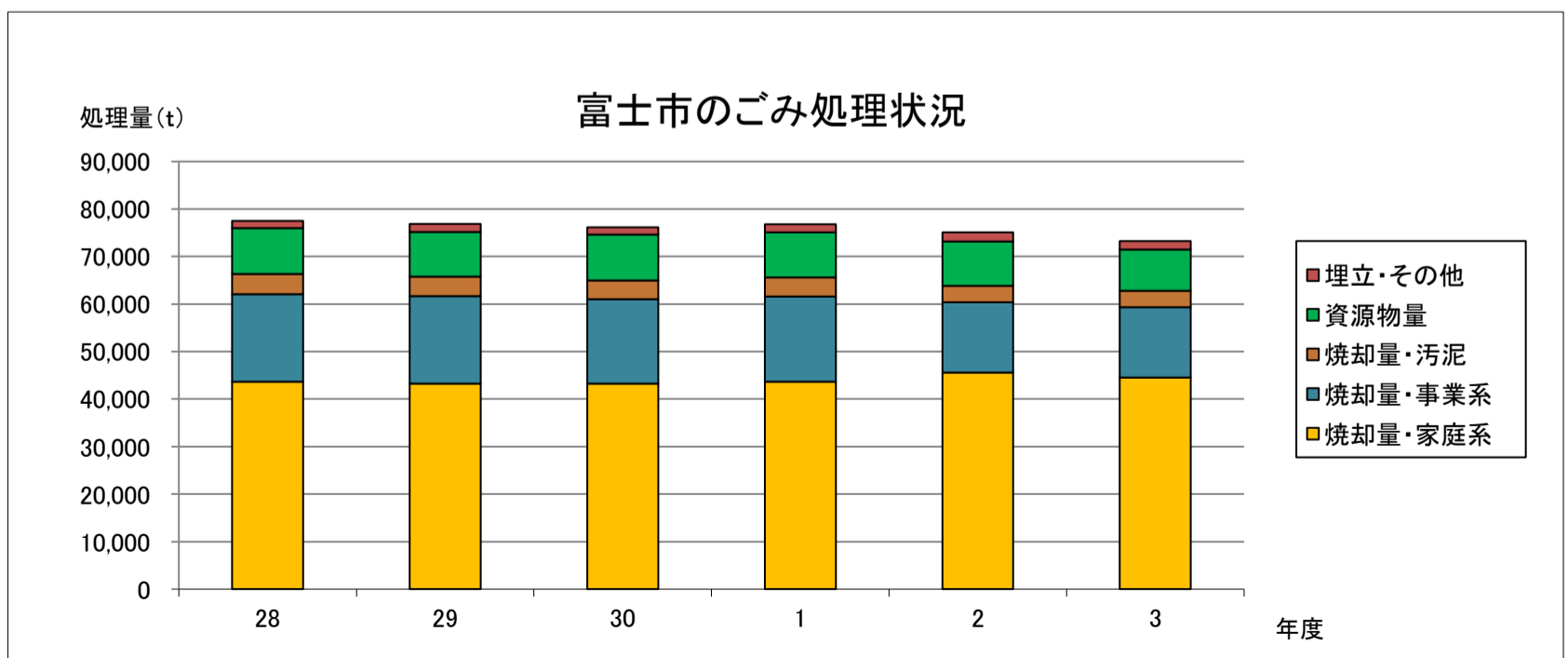
1)ごみ処理総量等

富士市のごみ処理量 (単位:t)

年度		H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	差引	
ごみ処理総量	量(t)	77,507	76,833	76,176	76,770	75,154	73,319	△ 1,835	
	増減率(%)	-1.6%	-0.9%	-0.9%	0.8%	-2.1%	-2.4%		
焼却量	量(t)	66,339	65,761	64,964	65,582	63,883	62,817	△ 1,066	
	増減率(%)	-1.1%	-0.9%	-1.2%	1.0%	-2.6%	-1.7%		
	家庭系	量(t)	43,634	43,260	43,243	43,665	45,597	44,517	△ 1,080
		増減率(%)	-1.2%	-0.9%	0.0%	1.0%	4.4%	-2.4%	
	事業系 その他	量(t)	18,445	18,402	17,762	17,930	14,810	14,792	△ 18
		増減率(%)	-0.5%	-0.2%	-3.5%	0.9%	-17.4%	-0.1%	
罹災物 (焼却)	量(t)	0	0	0	0	22	62	40	
	増減率(%)	-	-	-	-	-	181.8%		
下水・し尿汚泥	量(t)	4,260	4,099	3,959	3,987	3,454	3,446	△ 8	
	増減率(%)	-2.2%	-3.8%	-3.4%	0.7%	-13.4%	-0.2%		
資源物量 *3	量(t)	9,607	9,418	9,638	9,539	9,336	8,726	△ 610	
	増減率(%)	-4.1%	-2.0%	2.3%	-1.0%	-2.1%	-6.5%		
埋立・その他 *1	量(t)	1,562	1,654	1,574	1,649	1,935	1,776	△ 159	
	増減率(%)	-8.4%	5.9%	-4.8%	4.8%	17.3%	-8.2%		
ごみ処理基本計画対象量 *2	量(t)	73,186	72,597	72,216	72,720	71,607	69,708	△ 1,899	
	増減率(%)	-1.5%	-0.8%	-0.5%	0.7%	-1.5%	-2.7%		

* 1 直接埋立、破碎埋立、マット・ソファ・罹災物を含む

* 2 ごみ処理基本計画対象＝ごみ処理総量－(下水・し尿汚泥＋罹災物) *3 行政回収量のみ把握(集団回収量等については不算入)



①ごみ処理総量は、73,319 tとなり、対前年比で2.4%の減少

○前年と比較したごみ処理総量の△1,835 tの内訳は、埋立その他で159 t減少、資源物量については610 t減少、焼却量についても1066 t減少した。

②新環境クリーンセンターでの焼却量は、62,817 tとなり、対前年比で1.7%の減少

○対前年比で家庭系ごみが、1080 t減少し、事業系・その他も18 t減少している。

ごみ処理総量は、令和2年度に比べ1,835トンの減少となりました。減少となった理由は、下記が考えられます。

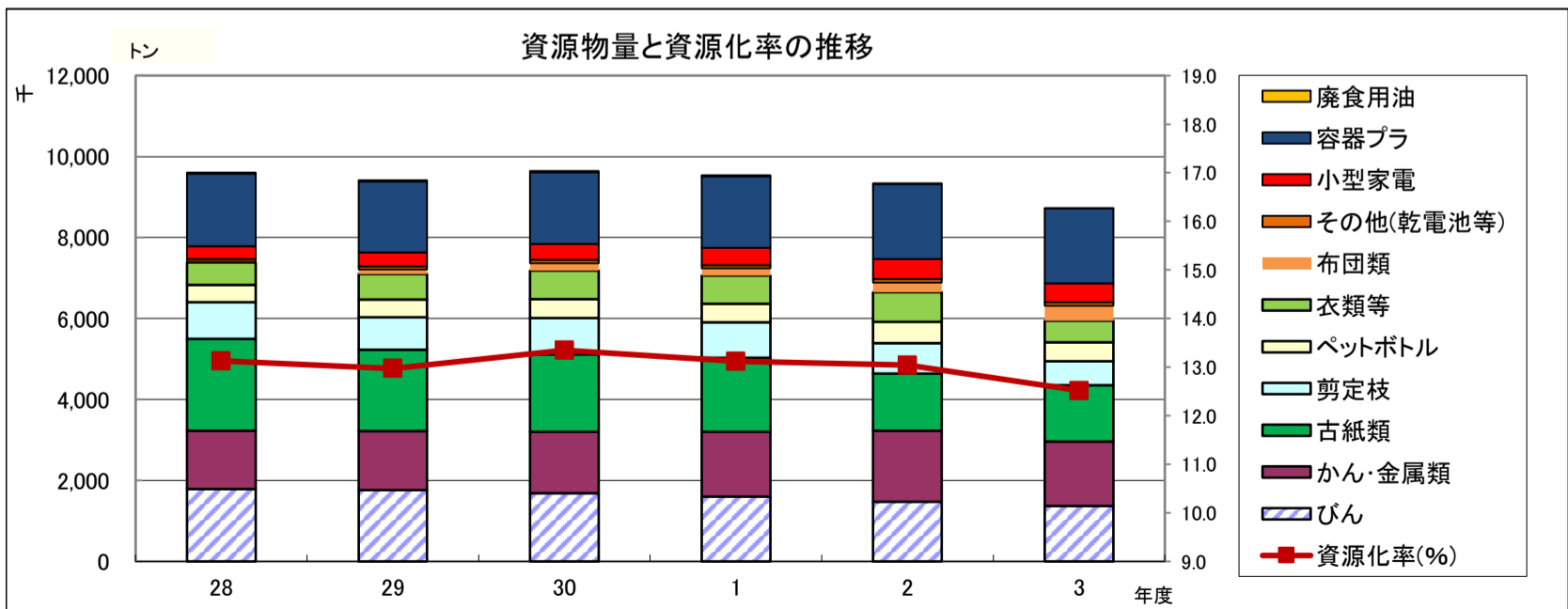
- ・コロナ禍の影響で事業活動が滞っており、事業系ごみ焼却量が減少傾向にあるため。
- ・市民によるリデュース(発生抑制)やリユース(再利用)の推進により、家庭系ごみ焼却量が1,080トン減少したため。(食品ロスの削減やマイバッグ、マイボトル等の普及が進んだと考えられるため)
- ・リユースや民間の回収ボックスの活用によって、資源物量が610トン減少したため。(SDGsへの取組などによる企業努力により、ポイントを付与する回収ボックスの普及が進んでいると考えられるため)

2) 資源化物量 (行政回収量のみ)

富士市の資源化物量(t)と資源化率(%)

項目 \ 年度	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	差引
資源物総量	9,607	9,418	9,638	9,539	9,336	8,726	△ 610
びん類	1,788	1,764	1,689	1,595	1,474	1,372	△ 102
かん・金属	1,440	1,460	1,516	1,604	1,753	1,588	△ 165
古紙類	2,273	2,004	1,909	1,836	1,417	1,398	△ 19
剪定枝	900	807	901	869	744	589	△ 155
ペットボトル	427	430	460	457	528	469	△ 59
衣類・小物類	553	633	713	697	729	531	△ 198
布団類	21	116	182	185	242	369	127
その他(電池・コード類・蛍光管)	71	74	76	78	83	91	8
小型家電	310	339	393	426	497	468	△ 29
プラスチック製容器包装	1,795	1,762	1,771	1,765	1,849	1,841	△ 8
廃食用油	29	29	28	28	20	10	△ 10
資源化率 *1	13.1%	13.0%	13.3%	13.1%	13.0%	12.5%	-0.5%

*1 資源物総量÷ごみ処理基本計画対象量×100



- ①資源物総量は 8,726 t で、対前年比で 610 t (6.5 %) 減少した。
- ②ごみ総量が 減少 し、資源物総量も 減少 した。その結果、資源化率は 12.5 % と前年度より 0.5 ポイント 下回った。(ごみ処理総量に対する資源化率)
- ③びん、かん・金属、古紙の主要品目で全資源物量の約5割を占めているが、対前年比でそれぞれ
びん 6.9 % 減少、かん・金属 9.5 % 減少、古紙類は 1.3 % 減少している。
- ④ペットボトル、剪定枝、衣類・小物類、布団類、容器プラ、廃食用油の比較的近年に取り組み出した品目について

○ペットボトル	59	t	(対前年比	11.2	%)	減少している。
○剪定枝	155	t	(対前年比	20.9	%)	減少している。
○衣類・小物類	198	t	(対前年比	27.2	%)	減少している。
○布団類	127	t	(対前年比	52.6	%)	増加している。
○容器プラ	8	t	(対前年比	0.4	%)	減少している。
○廃食用油	10	t	(対前年比	49.3	%)	減少している。

資源物量は、全体で610トン減少となりました。減少となった理由は、下記が考えられます。

- ・マイボトルの普及により、かんやペットボトルの排出機会が減っていると考えられるため。
- ・ポイントを付与する民間の回収ボックスを利用する機会が増えていると考えられるため。
- ・衣類の片付けが一段落し、排出機会が減ったため。(コロナ禍による在宅時間の増加により、令和2年度は衣類の排出量が増加しましたが、令和3年度は布団を片付ける世帯が増えたと考えられます)

3) 富士市ごみ処理基本計画2015-2024目標値との対比

- 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に基づく1人1日当たりの焼却量及び資源化率、事業系ごみについて

(単位: g)

年度	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	485	480	475	470	468	466
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	484	482	484	490	516	504
資源化率[%](目標値)	15.5	16.5	17.5	18.0	18.2	18.4
資源化率[%](実績値)	13.1	13.0	13.3	13.1	13.0	12.5
1人1日あたりの焼却量(目標値)	655	650	645	640	636	632
1人1日あたりの焼却量(実績値)	666	664	659	668	657	648
事業系ごみ量(目標値)	18,300	17,700	17,300	16,800	16,600	16,400
事業系ごみ量(実績値)	18,445	18,402	17,762	17,930	14,810	14,792

※目標値との対比においては、し尿汚泥・下水道汚泥・罹災物量は除く。

* 家庭系ごみ1人1日当たり排出量(g) = (家庭系焼却量 + 埋立(罹災物は除く))(t) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

* 資源化率(%) = 資源物量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100 (資源物量については、行政回収量のみ)

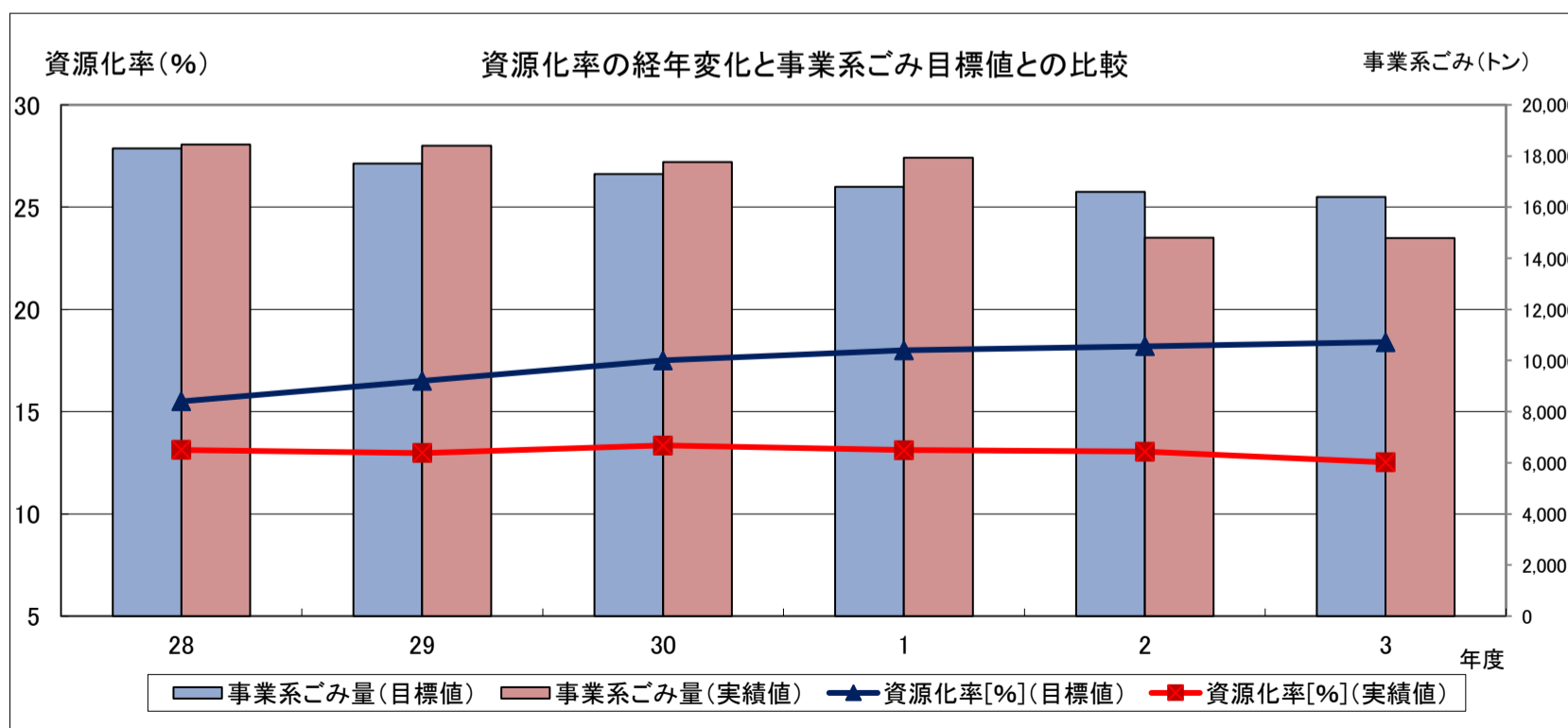
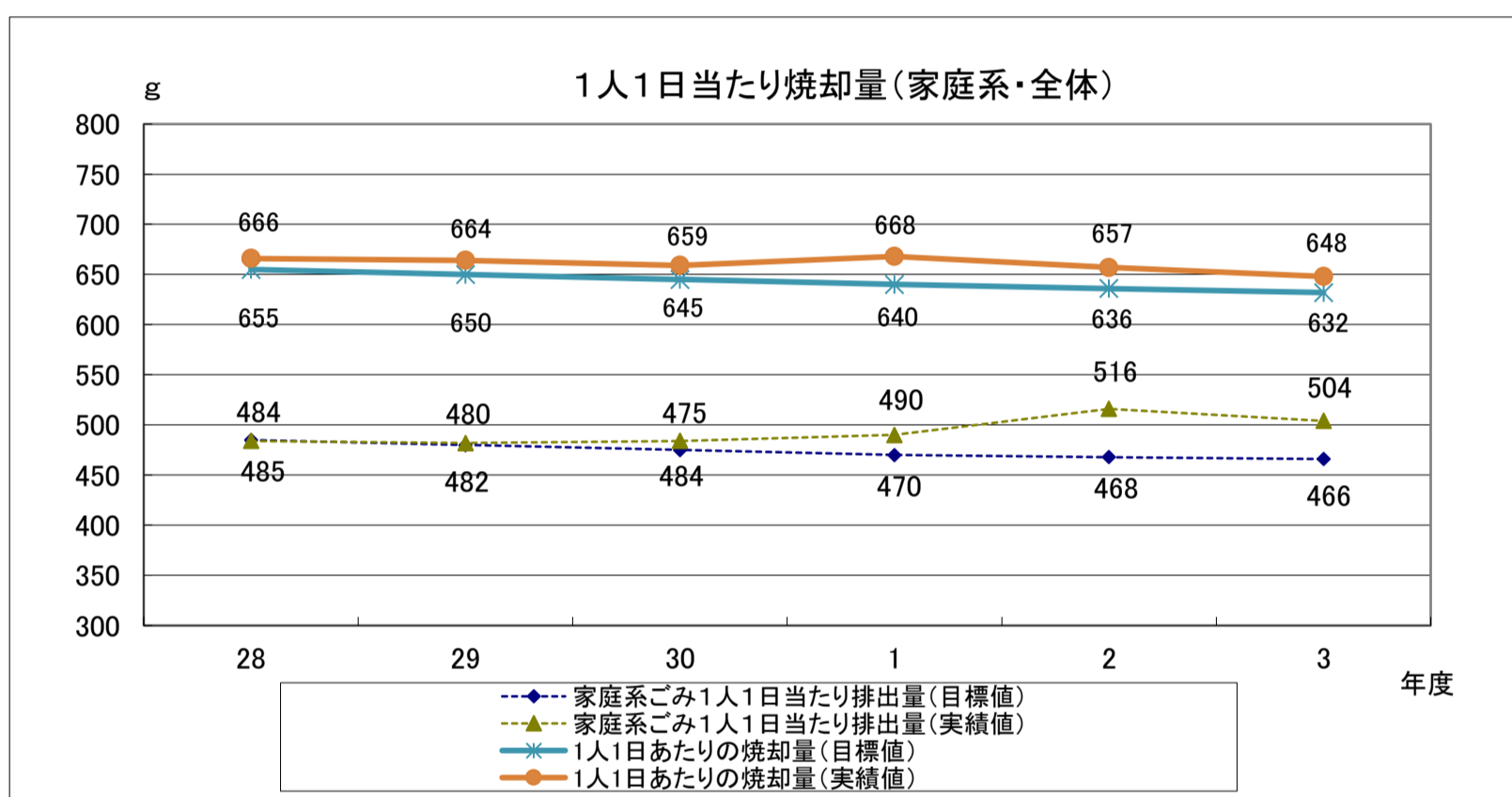
* 1人1日当りの焼却量(g) = (焼却量(t) - 下水・し尿汚泥(t)) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

* 富士市人口 250,030 人(3 月末現在)

【ごみ処理基本計画対象値の構成】

(単位 : t)

年度		H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	構成比
焼却量 (罹災物・下水・し尿汚泥は除く)	量(t)	62,079	61,662	61,005	61,595	60,407	59,309	85.1%
	増減率(%)	-3.8%	-0.7%	-1.1%	1.0%	-1.9%	-1.8%	
資源物量	量(t)	9,607	9,418	9,638	9,539	9,336	8,726	12.5%
	増減率(%)	3.4%	-2.0%	2.3%	-1.0%	-2.1%	-6.5%	
埋立(罹災物を除く)	量(t)	1,500	1,517	1,573	1,586	1,863	1,673	2.4%
	増減率(%)	-8.7%	1.1%	3.7%	0.8%	17.5%	-10.2%	
ごみ処理基本計画対象	量(t)	73,186	72,597	72,216	72,720	71,607	69,708	100%
	増減率(%)	-3.1%	-0.8%	-0.5%	0.7%	-1.5%	-2.7%	



①ごみ処理基本計画対象値については 69,708 t となり、対前年比で 2.7 % 減少し、
焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)についても、 59,309 t となり、対前年比で 1.8 % の減少となった。

○ごみ処理基本計画対象値における焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)の構成比は、 85.1 % であり、対前年比で
0.7 ポイントの増加となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における資源物量の構成比は、 12.5 % であり、対前年比で 0.5 ポイントの
減少となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における埋立量(罹災物は除く)の構成比は、 2.4 % であり、対前年比で 0.2 ポイントの
減少となっている。

②家庭系ごみの1人1日当たりの焼却量は 504 g であり、対前年比で 12 g (2.3 %) の
減少 となり、目標値 466 g に対して 38 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 7.5 % 超過し、達成できていない。

③資源化率は 12.5 % であり、対前年比で 0.5 ポイント下回り、目標値 18.4 %
に対しては 5.9 ポイント下回り、目標値を達成できていない。 (資源物量については、行政回収のみ把握)

④1人1日当たりの焼却量は 648 g であり、対前年比で 9 g (2.5 %) の
減少 となり、目標値 632 g に対して 16 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 2.5 % 超過し、達成できていない。

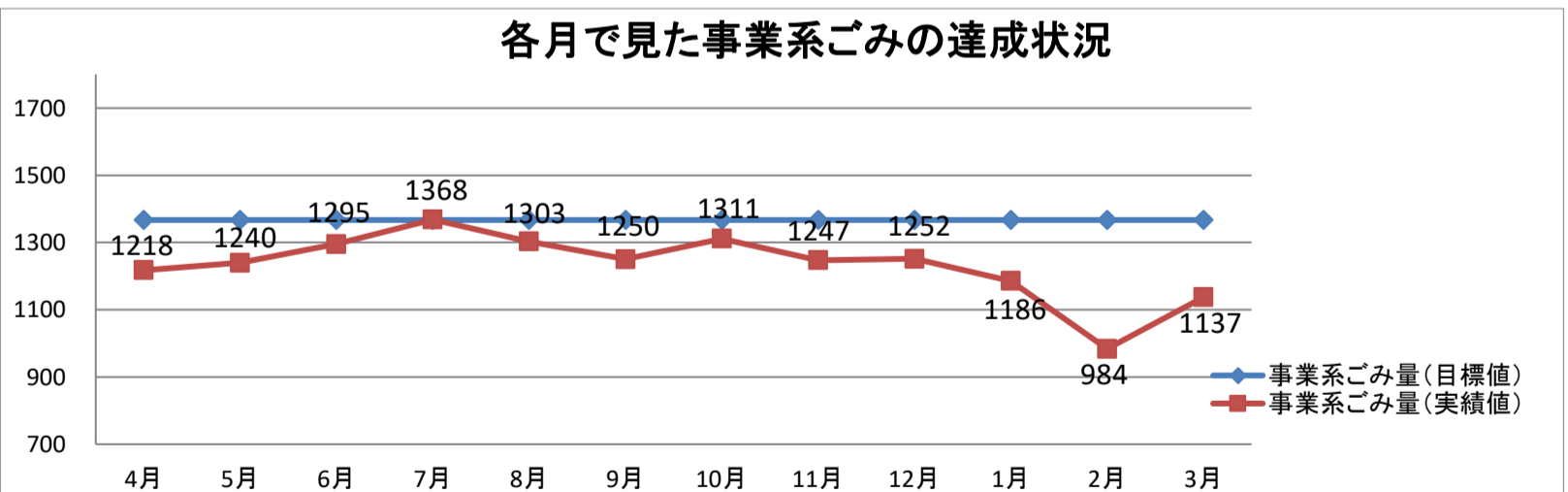
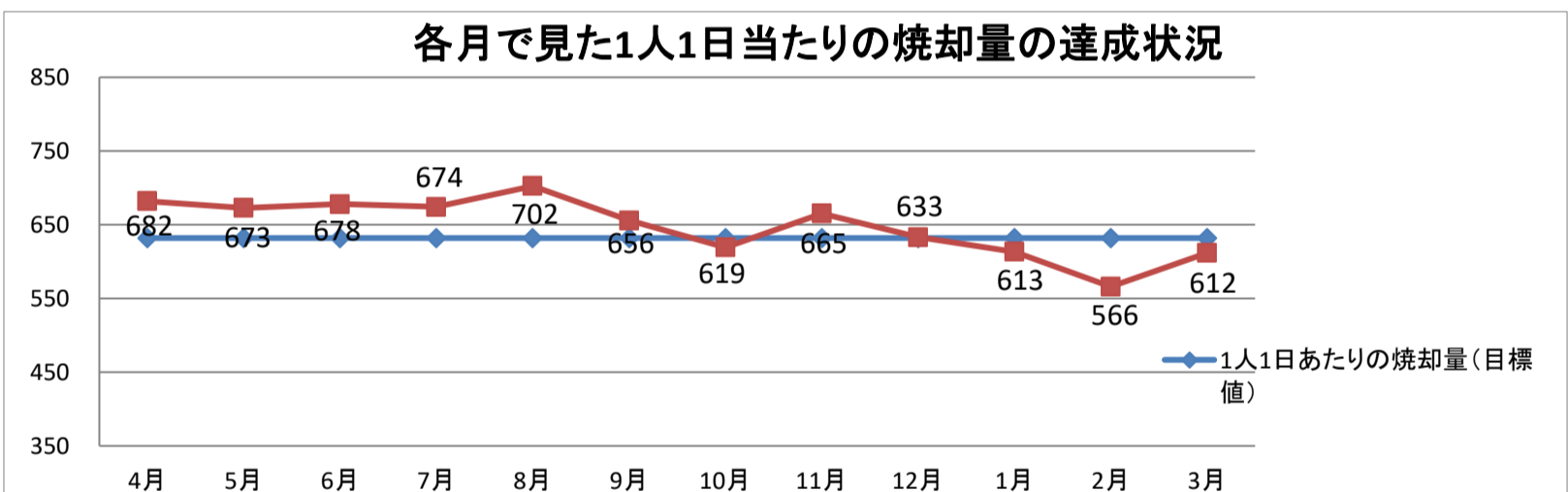
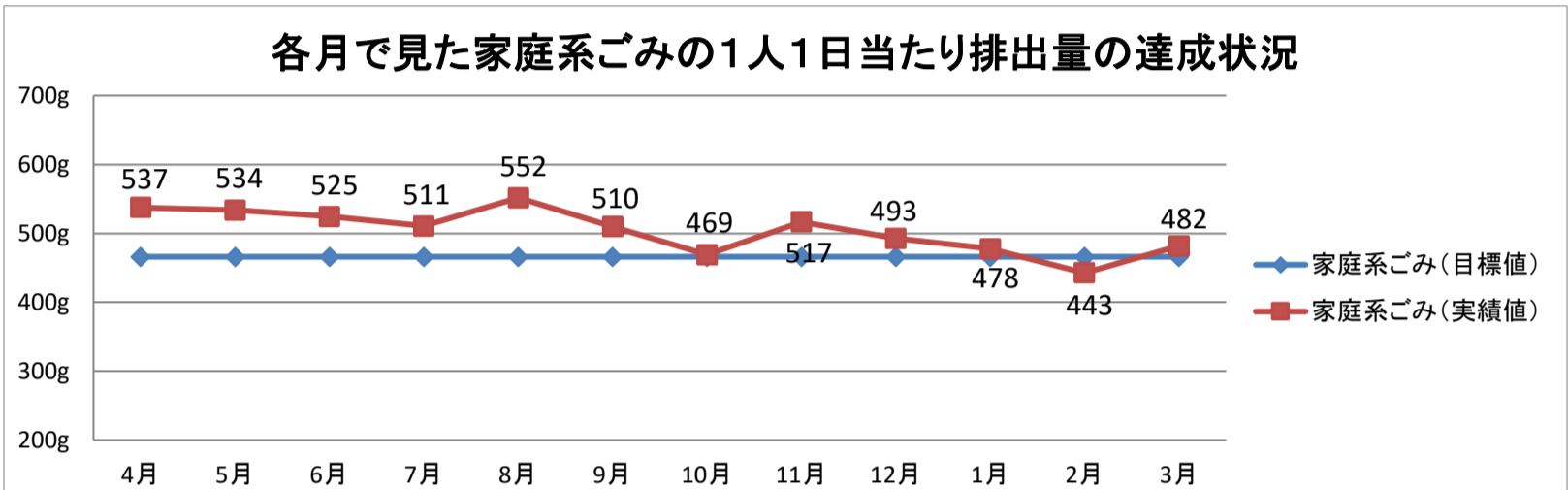
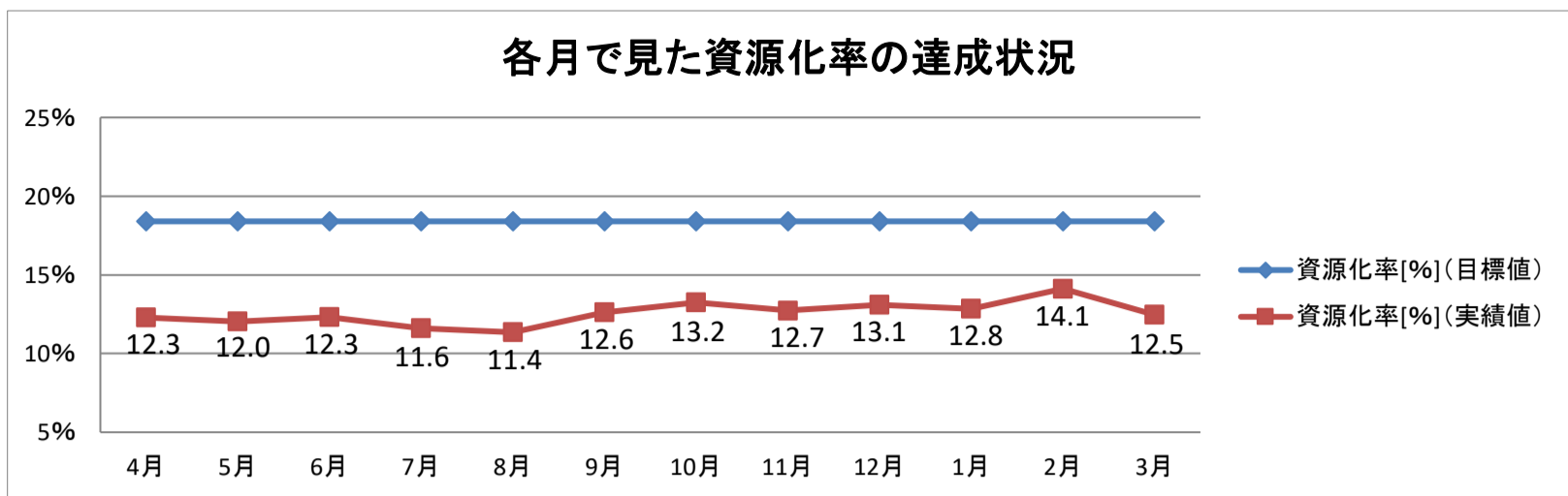
⑤事業系ごみ量は 14,792 t であり、対前年比で -18 t (0.1 %) の
減少 となり、目標値 16,400 t に対して -1,608 t 下回り、目標値を達成した。

◇目標値に対する割合…… 10.9 % 減少し、達成できた。

● 各月で見た1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率の達成状況について

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	537	534	525	511	552	510	469	517	493	478	443	482
資源化率[%](目標値)	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4
資源化率[%](実績値)	12.3	12.0	12.3	11.6	11.4	12.6	13.2	12.7	13.1	12.8	14.1	12.5
1人1日あたりの焼却量(目標値)	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632
1人1日あたりの焼却量(実績値)	682	673	678	674	702	656	619	665	633	613	566	612
事業系ごみ量(目標値)	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367	1,367
事業系ごみ量(実績値)	1,218	1,240	1,295	1,368	1,303	1,250	1,311	1,247	1,252	1,186	984	1,137

※ 目標値については、今年度のごみ処理基本計画に掲げる数値。なお、事業系ごみ量については年間の目標値を12で等分したもの



- ①資源化率については、1年を通じて目標を達成していない。
- ②家庭系ごみの1人1日あたりの排出量については、2月は目標を達成した。
- ③1人1日当たりの焼却量については、10月、1月、2月、3月は目標を達成した。
- ④事業系ごみについては、7月以外は目標を達成した。